



3Dプリンタを使ったリハビリテーション

作業療法学科

小池 祐士 准教授

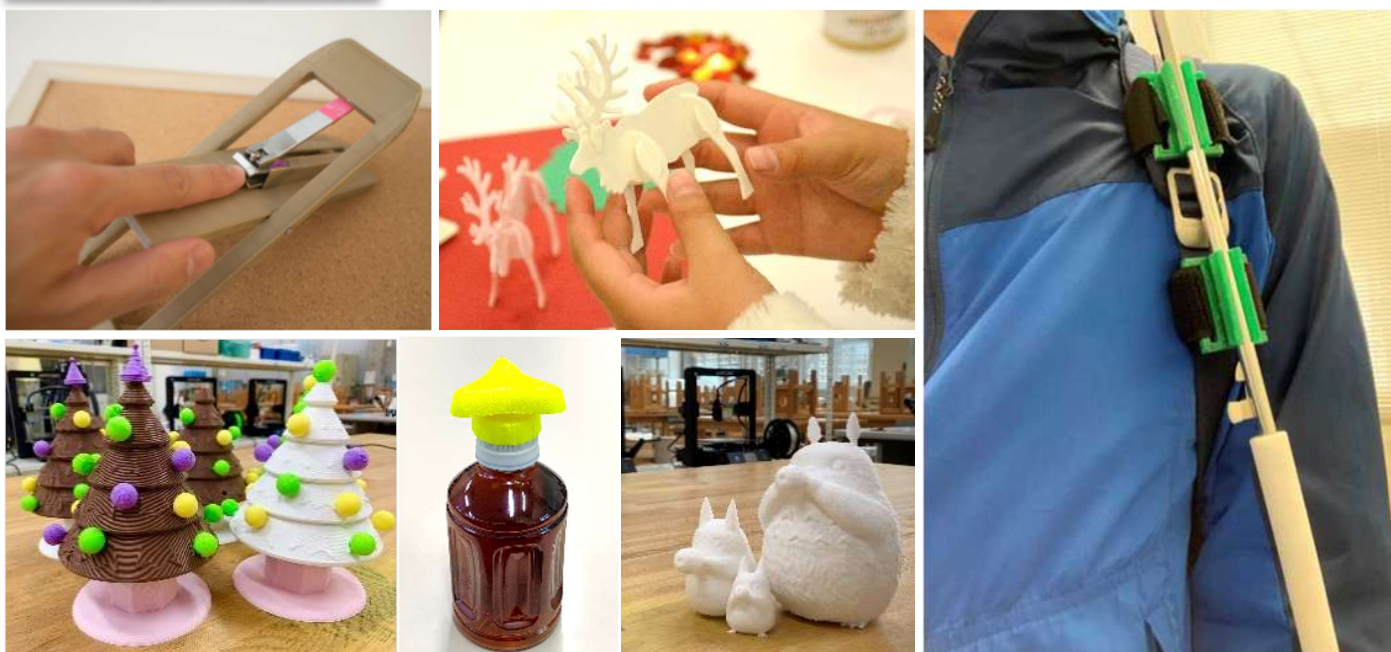
【研究分野】 ロボティクスリハビリテーション、地域支援、教育、福祉用具、3Dプリンタ
 【キーワード】 リハビリテーション、地域支援、自立支援、自助具、福祉用具、3Dプリンタ
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=189koi>



研究概要

リハビリテーション専門職は、日常生活の困りごとについて、筋力や麻痺の改善に向けたリハビリテーションだけでなく、環境調整や道具（福祉用具やその方に合わせた自助具）を用いて解決する支援を行っています。その自助具について、近年では**3Dプリンタを使って、その方に合わせて自助具を作製**する機会が増えてきています。また、高齢化社会の我が国において、リハビリの専門職だけでなく、**日常生活上の困りごとを自分たちもしくは家族、地域住民同士、友人同士で解決できる力が求められています**。そこで、3Dプリンタを活用した自由なモノづくりの可能性を知ってもらうための活動・研究をしています。

研究紹介



3Dプリンタで作製した作品や生活を支援する自助具

講座テーマ紹介

- ◆ 3Dプリンタに関連する講座
- ◆ 自立支援、地域支援に関連する講座
- ◆ 福祉用具・自助具の開発に関連する講座 など

アピールポイントなど

- ◆ 特許第6307210号：病態解析装置とそれを用いたリハビリテーション技術教育装置
- ◆ 特許第6372882号：紐引き股割れパンツー脳卒中片麻痺者用ー
- ◆ 専門作業療法士（脳血管障害）、認定作業療法士、介護支援専門員、福祉用具プランナー、キャラバンメイト、臨床実習指導認定者、埼玉県高齢者元気力アップ応援事業所認証事業講師、高次脳機能障害者サポーター養成講座講師